

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成29年度第1回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会
情報リテラシー・情報倫理分科会
分野別情報教育分科会

I. 日 時：平成29年7月31日（月） 14：00～16：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会会議室

III. 参加者：斎藤委員長、牧野委員、笈アトハバ伊、大原アトハバ伊、
玉田主査、和田委員、金子委員、本村委員(Skype)、
児島主査(Skype)、角田委員、武藤アトハバ伊、渡辺アトハバ伊(Skype)
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

9月6日 ICT 戦略大会の分科会での発表に向けて、検討事項と作業内容の確認を行った。

1. 初年次教育における情報リテラシー教育モデル授業方略について

- ・ 問題発見・解決思考の枠組みを理解するためのモデルとしては、主に3、6回コマで非情報系大学でも対応できる提案を重視してはどうか。
- ・ 想定される課題として、パソコンを使わない学生に対応することを考える必要があるのではないか。
- ・ 授業のコマが確保できない場合には、知識理解のために反転授業用のビデオ教材を作成することにしようかとの意見があった。
- ・ 授業方略としては、15コマでは問題発見・解決思考の枠組みを3サイクル、6コマでは2サイクル、3コマでは協働で問題解決に取り組む提案がされた。また、その授業の2サイクル目で利用した教材（説明用パワーポイント）が提示され、授業で提示したネット社会の問題についてのテーマが確認された。

2. 教育モデルの教材開発について

- ・ リテラシーの到達目標 A, B, C に対応した3コマの授業モデルを中心に大会では発表することにした。また、7分程度の映像での学生向け教材も加える検討もすることにした。
- ・ 教材開発の計画としては、授業実践（授業教材含む）、テキスト作成、教育系教材作成、保育・キャリア系教材作成、ゲーミング教材作成が予定されており、テキストの実践編が一部説明された。作成途中のこともあり大会では成果物の発表はせず、今年度で教材の振り返りを予定することにした。意見としては文字のテキスト以外に映像教材の必要性があげられた。

3. 専門分野との連携授業モデルについて

- ・ 文系（経済学）、理工系（機械工学）、医療系（薬学）、栄養系、被服学系5分野の授業モデルを大会でそれぞれ5分の紹介とすることにし、資料としては、機械工学のフォーマットを基本にそろえることにした。
- ・ 今回は、評価の部分を前回の資料に追加したことが説明された。

V. 今後のスケジュール

- ・ 次回は、8月21日に合同会議を開催し、リテラシーの到達目標 A, B, C に対応したモデルと文系、理工系、医療系、栄養系、被服系のモデルについて、大会発表に向けた準備の確認をすることにした。